

ライフケアガーデン湘南 特定入居3階

症 例 概 要 入居者：90代 男性 要介護5

利用期間：2020年6月上旬～12月現在

主疾患：硬膜下血種、前立腺癌、高脂血症、腰椎圧迫骨折、高血圧、変形性頸椎症（両下肢麻痺、上肢不全麻痺）

要介護5でご入居される。奥様の死別からの立ち直り、新しい生命の誕生と共に湧いてきた希望の実現化の事例。

内 容

H県の小学校にて教員～校長をお勤めされる。退職後は奥様と2人で生活。老々介護になり、娘様が住むC市に転移。2019年4月家の中で転倒し頸椎損傷にて入院。6月に他有料老人ホームから、先に奥様にご入居されていた当ホームに入居される。

入居当初から奥様の部屋に毎日通い、ハーモニカを吹くのを日課とし、笑顔の絶えない日々を過ごされた。2020年10月、奥様に先立たれてからは「早く奥さんの所に行きたい」「いつ死ねるんじゃ？」等のマイナス発言が多くなり、活気が無くなりはじめ、ハーモニカを吹く事もなくなる。

これに対し訪室をより頻回にし、コミュニケーションを取り傾聴を図る。写真を撮るのが好きで富士山を撮りたいと希望が聞かれ、ご家族に携帯電話と自撮り棒の用意をお願いする。スタッフが協力し、ご自身での写真撮影を楽しまれるようになる。レクリエーションへの参加を促し、デイルームで過ごす時間も増えた。

21年6月ころより体調不良で足が腫れ、嚥下が徐々に低下する。そんな中、ご家族からひ孫が誕生する一報が入る。この連絡にご本人はとても喜び誕生を心待ちにされる。10月、嚥下機能改善に向けてSTが週に1回リハビリ目的で介入、ご本人の趣向食や楽しみにも着目し、意欲が見られるようになる。全粥ミキサー食からお粥・キザミ食に形態が変更。

ご本人から「ひ孫の為に国から貰った勲章を背広に付けて記念写真を撮りたい。」と話を聞く。10月ひ孫が誕生。その後ご家族とひ孫が来訪され、ご本人は何度もひ孫を抱き上げ満面の笑顔で喜ばれた。

12月撮影当日を迎え、「背広なんて久しぶりだ。」「来年は白寿、ひ孫に元気な姿を見てもらいたい。

今日は撮って貰えて凄くうれしい。」と目を輝かせて喜ばれた。

生きる気力が回復してきたのは、職員との日々の会話やレクリエーションを継続することで、心の内を話せ、ワンチームで気持ちを分かち合えたからではないでしょうか。今後も他部署との協力し、ご家族を巻き込んだ、その人らしい心豊かな人生を送ることを提供できるようにしていきたいと思います。